

中学校英語科 学習意欲の向上につながる「学習記録シート」

「学習記録シート」は、生徒が単元や学期など一定期間の到達目標の達成をめざして日々の学習活動に取り組む際に、取り組んだ学習活動の結果をふまえた自己評価活動を通して各段階での学習の進捗状況を把握できるシートです。生徒にとっては、学習内容とその結果の記録ともなり、学習の過程をふり返ることで、自分のつまづきを把握することにつながります。

中学校第1学年で実践をしたところ、生徒にとっては、以下のような効果があることがわかりました。

- ・学習目標の達成に向けた生徒の努力を促す
- ・目標達成のために費やした努力の結果を肯定的にとらえ、学習意欲を持続、向上させる
- ・目標が達成できなかった場合にも、自分自身に原因を帰属させることにつながる
- ・生徒が、自身の学習行動と学習の結果を日々ふり返ることで、メタ認知能力の育成のための訓練となる可能性がある

さらに、こうした自己評価シートを作成したうえで、授業実践を行うことは、教師にとっても以下のような効果があり、そのことによって、一層効率的で効果的な教育実践につながる可能性が把握できました。

- ・より意図的・計画的な教育実践を可能にする
- ・生徒の自己評価の結果をふまえた指導の工夫・改善につながる

「学習記録シート」は、生徒の実態を的確に見極め、作成する必要があります。各学校での実践の際には、以下の例を参考にしてください。

「学習記録シート」のレイアウトの例 → PDF

「学習記録シート」の内容の例 → PDF

「学習記録シート」の理論的な背景や開発の過程については、大阪市教育センター研究紀要第183号「実践的コミュニケーション能力を育成する中学校英語科の指導に関する研究－学習意欲の向上につながる学習評価のあり方－」(PDF)をご参照ください。